

# 第一新聞

発行所  
**第一未来館**  
Tel:088-655-5001

第147号



## 定期テスト後に本物の力がつく!

定期テストが終わった今、ただ点数に一喜一憂するのではなく、その後の学び方を見直すことが大切です。計画通りに対策できたかを振り返り、テストの点数を自己評価の一部として活用しましょう。点数は計画の評価であり、次のステップを考えるための貴重な指標です。

しかし、点数だけに注目せず、点数に反映されなかった部分にも目を向けましょう。ミスをしたのか、それとも理解が不十分だったのかを見極めることが重要です。これにより、自分の学力を正確に把握し、次回のテストで同じミスを繰り返さないようにするための具体的な対策を立てることができ

ます。例えば、問題を解く際のケアレスミスを減らすためには、日ごろからテストを受ける姿勢を意識し、同じリズムで問題を解くことが有効です。また、理解不足だった部分については、教科書や参考書を再度読み返し、関連する問題を解いて理解を深めることが必要です。

(日下先生)

## 県総体

6月中は各会場で市総体の熱戦が繰り広げられ、勝利に喜びを爆発させたり、あるいは悔しさを涙をのんだ人もいます。ここで、部活を引退される中学3年生諸君、3年間本当にお疲れさまでした。部活動で培った努力を続

ける姿勢や、先輩・顧問の先生から技術・戦術を学ぶ姿勢も今後の勉強に必ずプラスにはたらきます。いざ本格的な受験勉強へ暑い・熱い7月を全力で駆け抜けていきましょう!!

また、県総体に挑む選手諸君もたくさんいると思います。勝てば四国・全国総体も見えてくる緊張感のある試合が待ち構えています。日ごろの練習の成果を思う存分発揮し、悔いの残らない充実した大会にしてほしいです。ただ、どうしても3年生諸君は勉強を切り離すことはできません。練習の疲れをおいしい食事・十分な睡眠で軽減しつつ、合間の時間をみつけ勉強を続けてください。

この時期、全国の中学3年生が歯を食いしばって頑張っています。徳島第一ゼミ生諸君も、共に頑張ってください!

(竹田先生)

## NEW 夏期講習

汗ばむ日も増えてきましたが、みなさんお変わりなくお過ごしでしょうか?そして皆さんが楽しみにしている夏休みが近づいてきました。今から遊びや旅行の計画も色々立てていることでしょうか?

さて、夏休み中、毎年徳島第一ゼミでは夏期講習会をおこなっています。しかし今年の徳島第一ゼミの夏講習は一味違います。詳しくは保護者会でもお話ししますが、通常の授業形式で行う期間の他に小学生には「集団こべつ」、中学生にはさらに「映像こべつ」の期間をご用意しております。

「集団こべつ」では、それぞれが個別に学びたい箇所を質問してわかるようになるまで徹底的に学習します。というのも、生徒のみなさんの手元をしっかりと見ながら理解しきれていないところを講師がそれぞれ丁寧に指導することができるからです。

一方、中学生の「映像こべつ」では東進衛星予備校の中学NETを使用します。自分の苦手な科目・単元を選択して弱点を克服したり、学校より先の勉強を進めたりすることもできます。徳島第一ゼミの高校部は全て東進なので、一足先に高校生と同じ勉強法を体験できるというわけです。

(宇都宮先生)



## ゼミ中学部だより(今回は小学部も含みます)

塾生の皆さん、いよいよやって参りました。2024年夏期講習の2大合宿のシーズンです!今回の合宿は、「宿題をすませる合宿」と「受験必勝夏合宿」です。「宿題をすませる合宿」は夏休みを有意義に過ごすために、一泊二日で学校の宿題をいち早く終わらせてしまおうというものです。学校の宿題が終わることにより、夏休み中での自分の精神状態は非常に余裕のある落ち着いた状態になり、他の勉強や習い事や自分のプライベートにも時間を割くことができますね。

また「受験必勝夏合宿」は、小学生と中学生を対象としており、夏期講習会が本格的にスタートする前に、自分の受験生としてのモチベーションをより向上させるためのスターター特訓として、ぜひ活用して下さい。

こちらの合宿は、小6生では「附属・文理中合格クラス」と「城内中合格クラス」、中3生では「高校入試合格クラス」をそれぞれ専用クラスとして準備しています。中学入試対策のクラスでは、中学入試の過去問にチャレンジしたり、絶対に抑えるべき単元を補強したり、集中的に入試傾向を把握したりと、今後小6生の皆さんが自分自身で受験勉強を進めていくときに、勉強の方向性を示すものともなるでしょう。これはもう参加するしかありません。

高校入試対策のクラスでは、夏合宿だからできる、入試を強く意識した集中講義を実施し、中3生の皆さんが各教科の勉強ポイントをより把握しやすいようにします。そうすることで、夏期講習会、そして9月以降により磨きがかかった状態(フラッシュアップ)で臨めるので、同じ受験勉強時間でもその密度が全く異なったものになるでしょう。

小・中学生の皆さん、この夏、徳島第一ゼミグループの2大合宿から始めませんか?きつとすさまじいものとなりますよ!皆さんからの問い合わせをお待ちしています。



先日、夏期講習の日程や概要を発表しました。今年の夏期講習は、従来の形から大幅にリニューアルを行うこととなりました。通常のクラス授業に加えて、問題演習の質問に答える「集団こべつ」、NETを用いた「映像こべつ」等を取り入れました。

集団授業、個別指導、映像授業など、学習システムが近年は多様化し、それに合わせて私たちの指導方法もまた多様化が必要となることがあります。それぞれのスタイルにおいて、メリットとデメリットの両面はもちろん存在します。ですが、これらを上手く組み合わせることで、最高の夏期講習をお子様たちに提供できると信じております。

学力や性格など、個性によって最適な学習方法は異なります。例えば漢字を覚えることを目標にしていたとして、そのやり方は「書いて覚える」「目で見て覚える」「熟語で覚える」「文章中の知らない漢字を覚える」「声に出しながら書く」など様々です。そしてどのやり方が自分に合うかは、残念ながら誰かに教えてもらうことはできません。自分で色々試してみ

## 最高の夏期講習

自分自身で色々と試してみつけて、自分に合うやり方を自分で見つけるしかありません。そういう意味では、今回の夏期講習で様々なやり方に触れるのは、大きなチャンスでもあると思います。

しかしどのようなやり方だとしても、皆さんの最終目標は同じだと思えます。成績を上げたい!志望校に合格したい!将来のなりた自分になりたい!目標に向けてみんなが丸となって頑張りましょう。最高に頑張る夏(じゅん)!

「過去に失敗したトラウマで失敗し続けている」というのは、現在の行動の原因を過去の行動のせいにする「原因論」です。アドラー心理学では、過去を原因に現在の行動が起るとは考えません。現在の行動は、現在の「目的」で起こりえないというわけではなく、「精神的なフレッシュ」を克服しないため失敗し続けている「この考え方を「目的論」といいます。過去の失敗は過去のもの、これからのことは自分の行動次第と切り替えることが大切です。

どちらもすぐに実践するのは難しいですが、参考にしたい考え方は

## 心理学から学ぶ

オーストリアの精神科医アルフレッド・アドラーが提唱した心理学を、アドラー心理学と呼びます。アドラー心理学は人間関係に重きを置いており、これを学ぶことで

皆さんの生活にも大いに役立てられそうです。アドラーは「人間の悩みのすべては対人関係の悩みである」と言いました。確かに家でのおんびり過ぎている限りは、悩むことはあまりなさそうです。しかし生活する上で、人は一人では生きられません。外に出て誰かと関わることで助けてもらったり、楽しみをもらったりしますね。すると同時に同じくらい、悩むことも出てきます。

人間関係を円滑にするためには、他人の課題と自分の課題を分離して考えることが大切だとアドラーは言いました。たとえ自分も不機嫌な人がいて、自分のしたことがその人の気に障ると大声で怒鳴ってくる場合で考えてみます。不機嫌であるのはその人の課題であり、「自分のせいだ」と怒らせた」と考える必要はありません。不機嫌な感情に対処するのはその人の仕事であって、自分の役目ではないとほうっておきましょう。

もう一つ例を考えてみます。ピアノを習っているAさんは、大切な発表会でミスをしてしまいました。それ以降、Aさんは発表会の前日になるたびに「また失敗してしまうかも」と怖くなってしまい、うまく眠れなくなりました。実際の発表会でもミスを繰り返してしまっています。

「過去に失敗したトラウマで失敗し続けている」というのは、現在の行動の原因を過去の行動のせいにする「原因論」です。アドラー心理学では、過去を原因に現在の行動が起るとは考えません。現在の行動は、現在の「目的」で起こりえないというわけではなく、「精神的なフレッシュ」を克服しないため失敗し続けている「この考え方を「目的論」といいます。過去の失敗は過去のもの、これからのことは自分の行動次第と切り替えることが大切です。

どちらにもすぐに実践するのは難しいですが、参考にしたい考え方は

(今岡先生)